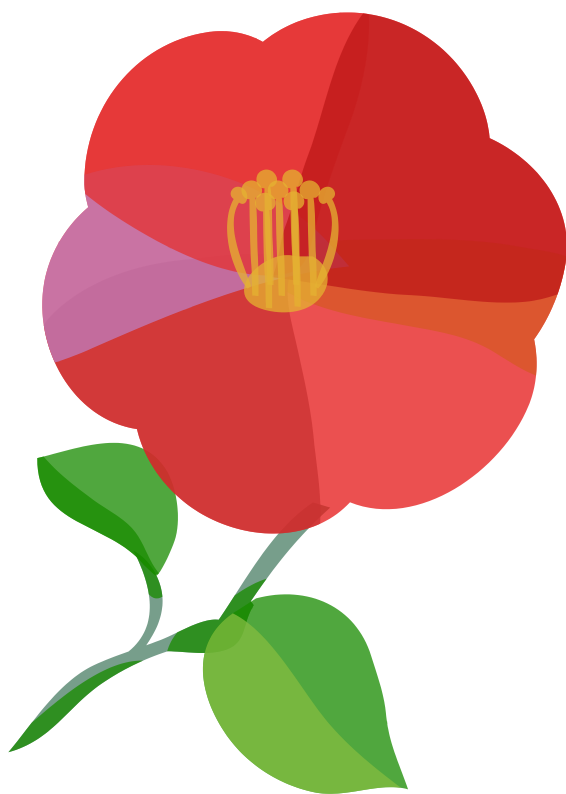


こまき市民活動ネットワークの“今”がわかる！

ネットワークニューズレター

2009. 2
vol.7



特集

『助成金』

特別企画

報告「信長サミットに向けた“こころ”のリレー講演」

第2回 棟梁『匠のこころ』

第3回 『好奇心』宇宙の始まりとは？宇宙の果てとは？

活動報告

- ここばりこまき
- M-cPlace

会員紹介

- 株式会社 コモ
- フリーマーケットサークル
「ガレージアヒル」

- イベント・セミナー・助成金情報
- ネットワークHOT ニュース
- information

特集 「助成金」



地域社会のボランティア、NPOなど市民活動団体による自主的な事業の財政的支援を目的とする「助成金」。小牧市でも平成17年度から「小牧市市民活動助成金」が設けられ、年々申請団体の数が増え、注目を集めています。また、全国には2000を超える民間の助成財団が存在し、毎年600億円以上の資金を提供していると推定されています。今回は、この助成金を選ぶ上で役立つ情報をお届けします。

1. 助成団体を選ぶ

助成金情報を得るには主に次のような方法があります。

①インターネットで検索

◆NPOWEB（シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会）<http://www.npoweb.jp/>
全国の最新の助成金情報がタイムリーに更新されています。

◆（財）助成財団センター <http://www.jfc.or.jp/index.html>

民間の助成団体の情報を集めたデータベースがあり、事業形態・分野、財団名、キーワードからの検索が可能です。

※ 市民活動センターのパソコンからもご覧いただけます。

ただしセンター登録（無料）が必要です。

②書籍で調べる

◆「NPO・市民活動のための助成金応募ガイド」（財）助成財団センター発行

※市民活動センターで閲覧できます。

③市民活動センターで情報を入手

◆市や県から募集チラシが届くほか、さまざまな市民活動団体から届く情報紙などからも情報を得ることができます。

選ぶときのポイント

- ・実施したい事業が、助成の条件や主旨に合っているかどうかをよく調べ、わからない点については直接電話やメールなどで尋ねて助成内容をしっかり理解しましょう。
- ・過去にどのような事業が助成の対象となったかを知ることでも大変参考になります。助成団体のHPに紹介されているケースも多いので、チェックしてみてください。

2. 応募資料を取り寄せる

助成団体から資料を取り寄せます。助成団体のHPからダウンロードできるようになっているところもあります。

3. 応募書類の作成、提出

事業の「目的」「内容」「工夫により期待される効果」は最も重要な項目です。箇条書きにするなど要点をわかりやすく書くことが大切です。提出する前に、漏れや文字の誤りが無いかを再度チェックしましょう。

特別企画 報告～信長サミットに向けた“こころ”のリレー講演～

第2回 棟梁『匠のこころ』

11月22日(土) 東部市民センター 講堂

KU-MA(子ども・宇宙・未来の会)の的川泰宣会長をはじめとする皆様の働きかけで実現した、信長と宇宙をつなぐ「こころのリレー講演」。2 回目は、法隆寺の修復を手がけた棟梁小川三夫さんをお招きし、お話を伺いました。

代々口伝により現代に伝えられた日本伝統建築の技。栃木出身の小川さんを突き動かしたのは、高校の修学旅行で見た法隆寺の美しさでした。卒業後、奈良の名棟梁西岡一門を訪ね、数々の修業の後、一緒に生活することを許されたそうです。やることは、掃除に飯炊き、テレビも新聞も本を読むこともダメ！そして、刃物砥ぎばかり。親方の隣でふとんに入っても緊張したまま朝を迎えるつらい毎日でした。『何も教えてくれない親方』。でも、ある日親方からカノナ屑をいただき、その透けて向こうが見える真綿色の1枚こそが、その後につながるお手本となったそうです。

その後、昭和44年に弟子入りし、52年に現在の鵜工舎を設立され、今では、大変珍しくなった徒弟制度をずっと続けてこられました。ご自身が経験された掃除・飯炊きは、集団で共に生活する中で「素直なこころ」を、刃物研ぎばかりで「何も教えない」育成方針は、ついには自分で削ってみたいという「自ら学ぼうとする雰囲気」をつくりだすのだそうです。「即戦力は役に立たない。器用な子はその器用さにおぼれてしまうんです。無心で頑張る不器用な子ほど上達します」と語る小川さん。



講演中の小川さん

人が生きていくためには何が必要なのか？ 今の社会に欠けていること、今を生きる私たちが忘れてしまったことを思い出させてくれました。

法隆寺の大工に伝わる口伝に、「木組は、寸法で組まず木の癖で組め」とあるそうです。木の癖とは、左に捻ろうとする木、右に捻ろうとする木。育った環境によって違う様々な木を、その癖を組み合わせるこそ、全体のゆがみをなくすることができるということです。創建から1300年。「日本の伝統は物づくり。日常生活がつかく厳しいほど、出来上がった物に不満があるほど、執念が生まれ、それが体の記憶になっていく。法隆寺は体の記憶で出来上がったものです」と小川さん。講演の冒頭では、今回の講演のテーマである織田信長と一緒に本能寺で討ち死にした熱田神宮の宮大工のお話もあり、終始、穏やかな表情で、今回の壮大なテーマをまとめていただきました。

講演終了後には、宇宙をテーマに将来を担う子どもたちの育成を手がける KU-MA 理事の遠藤純夫さんを交え、副島孝教育長との鼎談が行なわれました。「豊かになったからなのか、親子のふれあいが少ない。いつも触れ合っていれば、失敗したときだけ言えばよい。子どもの自立心を大切にしたいですね」と



向かって左から副島教育長、小川さん、遠藤さん

小川さん。「親子向けのプログラムで、親の力を借りないといけないような工夫も取り入れています。人が成長するには何よりもコミュニケーションです」と遠藤さん。フィンランドの教育が注目を浴び、日本からも視察が絶えないそうですが、原点は「日本の古くから伝えられてきた精神にあり」と、認識を新たにしました。

(副代表理事 秦野利基)

第3回『好奇心』宇宙の始まりとは？ 宇宙の果てとは？

2月7日(土)
あさひホール



「信長と宇宙」で始めた“こころ”のルー講演も今回で3回目を数え、初めての宇宙づくしの講演会となった。宇宙の始まりとは？宇宙の果てとは？…超難解な講演テーマである。

170名ほどの参加者で埋まった場内から熱気を感じ、素朴な疑問—「好奇心」—を持っている人が多いことに驚いた。

【宇宙の学校への招待】:NPO法人KU-MA 的川泰宣会長

国分寺で精力的に実施されている「宇宙の学校」の意義や成果などについて具体的な紹介があった。

「宇宙の学校」の理念は、KU-MAの活動理念「知りたい」「創りたい」「新たな好奇心」を軸に、①家庭と地域と学校をつなぐこと、②日常的・継続的なスクーリングと家庭学習を通して親子の絆を深めること、にある。2009年7月22日の日食に合わせ“みんなで木もれ日を撮ろう！”キャンペーンを計画中という。こうした取り組みは、家庭と地域と学校をつなぐ上においても、今後の全国展開のモデルになる素晴らしいプログラムになるだろう。

【宇宙のはじまりとは？宇宙の果てとは？】:東京大学大学院理学系研究科教授 佐藤勝彦氏

古代から人間が抱いてきた素朴な疑問を解きほぐすように、地理学(世界・宇宙の構造)、歴史学(世界・宇宙の起源)から話が始まった。

古代からの素朴な疑問が、アインシュタインの相対性理論によって科学的に解明できるようになり、その結果として宇宙は膨張していること。また、宇宙の始まりとされていたビッグバン(火の玉爆発)モデルには問題があり、この問題を解決するために素粒子理論に基づく宇宙論(インフレーション理論)を確立したこと(1980年に佐藤教授が最初に提唱)。そしてアメリカの天文衛星(1992年と2003年に打上げた衛星)によってインフレーション理論の正しさ(宇宙誕生から30万年後の揺らぎ)が裏付けられたことなど、まるで絵巻物でも見るように話が展開していった。



講演中の佐藤教授

しかし、宇宙の始まりが分かった途端、暗黒物質や暗黒エネルギーなど、あらたな謎も生まれてくる。そうした“新たな謎に挑戦し、謎を解くのは、若者である。”と、未来を切り拓いていく子どもたちへの力強いメッセージで講演は締めくくられた。

それにしても、50億年後には私たちの銀河と近くの銀河が衝突・合体し、永遠の存在だと信じられていた宇宙もやがて消え入る運命にあるとは、、、少し寂しくなった。

.....

講演後は、副島孝教育長を交えての3氏の^{ていどん}鼎談となった。的川会長の「親子の絆を深めることの大切さ」と佐藤教授の「孫は可愛い」の言葉に共感された方も多いと思う。子どもの成長にとって、今更ながら家庭の大切さを痛感した。

(こころのルー講演準備会 佐橋克己)



講演後にメロディーパークで行った天体観望会には約40名が参加。名古屋市科学館天文ボランティアのみなさんよりレクチャーを受けながら、宵の明星(金星)や冬の星座を楽しみました。

ここぱりこまき(こころのバリアフリーをすすめる会こまき)

気づくことから始まる暮らしやすいまちづくり 12月7日(日)

しょうがいのある人の暮らしにくさは、社会に4つのバリア(物理的バリア、法令・制度的なバリア、文化・情報面のバリア、こころのバリア)があるからだと言われます。私たちは、私たちのまちを、どうしたら暮らしやすいまちにできるかを、しょうがいのある人の気持ちや暮らしぶりを知り、しょうがいのある人の暮らしにくさに気づくことから始めようと活動をしています。

そうした中、「愛知県心のバリアフリー推進事業」の委託を受け、講師に、しょうがいのある人の自立生活やケアマネジメントに造詣が深く、ご自身も車いす利用者である愛知淑徳大学教授谷口明広氏を迎え、講演会とシンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは、身体・知的・精神のそれぞれのしょうがいのある方をシンポジストに迎え、生活の中での喜怒哀楽や夢などを語っていただきました。



ふれあいセンター3階で開催したシンポジウムの様子。

関西弁でユーモアたっぷりに語られる谷口先生とシンポジストのみなさんとの絶妙な掛け合いは、会場を笑顔で包み「楽しかった」「わかりやすかった」「元気をもらった」との感想を多数いただきました。

また、後日シンポジストをお一人ずつ迎えて開催した3回の「フォローアップ研修会」では、それぞれのしょうがいや暮らしについてさらに詳しく知ることができ、より理解を深める機会となりました。

(ここぱりこまき代表 山中和彦)



M-cPlace

本格ガトーショコラケーキ作りに挑戦!

2月13日(金)

「子育て中のママに輝いていてもらいたい!」と、子ども連れでも気軽に参加できる講座やイベントを主催してきた M-cPlace。今回は、バレンタインデーを控え、ご主人へ手作りのガトーショコラケーキをプレゼントしようという、東海ゴム工業(株)との協働により開催が実現した企画です。

ドアを開けると、甘〜い香りと子ども達の元気な声! 調理スペースの奥にはマットを敷いた2畳ほどの託児スペースが設けられ、半数のママが料理をする間、残りのママが託児を引き受けます。これなら安心してケーキ作りに専念でき、みんなで子どもをみることで、ママ同士の連帯感も深まります。



可愛いパーツが飾られたデコレーションボックスも手作り!

できあがったケーキは、1月の講座で作ったデコレーションボックスに入れて



16組の親子(子ども18人)でにぎわうまなび創造館の調理室。託児のオモチャや絵本などは東海ゴム工業(株)より提供。

完成! こうした心くばりも若いママのハートをキュッとつかむ嬉しいアイデアです。

M-cPlace では、こうした単発の文化講座を展開するグループ「be-natural」の他、里山遊びや交流会を企画するグループもあり、来年には「託児ボランティア養成講座」の開講も予定しています。

「やりたいことがいっぱい!」という若いママの夢とパワーをのせたこれからの活動に期待したいと思います。

(取材: 広報委員 平手友子)

株式会社 コモ

コモは、日本で初めてパネトーネ種の培養に成功し、「パネトーネ種の素材を生かし、おいしさを通じて、人々により多くのコミュニケーションを提供したい」を基本理念に、イタリアの伝統的な製法にこだわった、保存料無添加の「ロングライフパン」(賞味期間35日～90日)の製造・販売を行っております。

おいしさが長持ちする秘密は、パネトーネ種を生かしたイタリアの伝統的な製法にこだわり、通常のパンづくりでは考えられない程の時間と手間をかけて製造しているからです。「コモのおいしさ」を通じて、皆さまの笑顔を広げられるよう、日々努力しています。

また、「コモのおいしさ」を通じて市民の皆さまを応援しようと、「こまき産業フェスタ」や「小牧シティマラソン」、「小牧市民まつり」などへ協賛を積極的に行っております。さらに、その想いは市民の皆さまのみにとどまらず、災害時における救援物資の提供をはじめ、現在ヨットでの無寄港単独世界一周にチャレンジ中の有名なヨットマン斉藤実氏や、アースマラソンにチャレンジをしているタレント間寛平氏への食糧として商品を協賛し、応援しています。

今後も市民の皆さまはもちろん、すべての方々へ健やかな食生活をサポートできるよう、素材・味・品質・技術にこだわり、パネトーネ種の力を最大限引き出した、風味や口どけの良いおいしいパンをつくりつづけてまいります。

商品に関する詳しい情報は、ホームページ(<http://www.como.co.jp>)に掲載しておりますので、「おいさとたのしさがいっぱい」のホームページをぜひご覧ください。



コモおためしセット

(株式会社 コモ)

フリーマーケットサークル「ガレージアヒル」

主にフリーマーケットの開催・運営をしているサークルです。子育て中の主婦が集まったの結成当初は会員よりも子どもが多く、集会は遊具のある公園でベビーカーを押しながらの会議。「まるで育児サークルがフリーマーケットを開催しているみたいだね」と笑いあっていたのですが、あっという間に11年が経ち、子どもたちも小学生・中学生・社会人になりました。

結成当初から、自分たちが出店する時にどうしてほしいのかを考え、近所の方が「捨てるくらいなら、あそこでリサイクルしよう」と、そんな気持ちで気軽に参加できる会場づくりを目指しています。

主な活動は、ヨシヅヤ大口店の駐車場での「ごみ減量フリーマーケット」の定期開催。搬入のしやすさで出店者の方に好評で、福祉施設や老人ホームのみなさんが介護を受けながら出店されるなど、のんびりとした雰囲気の中、出店者同士の交流も楽しみの一つです。

最近では四季の森の「バラ・アジサイまつり」や、千種区の仲田銀座商店街の夏まつりでもフリーマーケットを開催。また2007年からは「こまきで遊ぼう！にぎわいクラフトフェア」(小牧市中心市街地にぎわい創出事業)を企画・運営し、今年も3月21日の開催に向けて準備を進めているところです。

会員を随時募集しています！

(フリーマーケットサークル「ガレージアヒル」代表 南山智子)



3月21日(土)のにぎわいクラフトフェアにぜひ遊びにきてくださいね！

イベント・セミナー・助成金



心技塾ネットワーク 第2回公開講演会 大事にしたい日本人の心～日本人ほど個性と創造力の豊かな国民はいない

講師 拓殖大学国際学部教授 呉 善花(オ・ソソファ)氏
著書に「日本人ほど個性と創造力の豊かな国民はいない」(PHP 研究所)、「韓流幻想」(文春文庫)等があり、日本での生活を通じて日本文化を深く理解し啓蒙に務めるとともに、日韓日中の複雑な関係に対し、その歴史観の理解から改善の道を示唆しています。

日時 平成 21年 3月 28日(土) 開演 午後 2時 20分
場所 名古屋都市センター14階 名古屋金山総合駅南口前ボストン美術館のあるビル(金山南ビル)
定員 100名
費用 無料
申込 参加申込書に氏名・連絡先をご記入の上、下記番号に FAX、または下記 Email に氏名・連絡先(住所、電話番号、メールアドレス等)をご連絡ください。
※定員になり次第、締切とさせていただきます。
※参加申込書は、小牧市市民活動センターにて配布しています。

主催 NPO 法人心技塾ネットワーク 〒485-0052 小牧市多気中町 297
TEL/FAX:0568-73-7928
E-mail:singijyuku-net@tenor.ocn.ne.jp

M-cPlace with 東海ゴム Presents ～今年の春のメイクを先取りしよう ワンポイントで春らしく～

講師 はなよめ工房 中島明子先生

日時 平成 21年 3月 4日(水) 午前10時～12時
場所 小牧市公民館3階 学習室3-2
定員 20名(子連れでも OK ですが託児はありません。プレイスペースとおもちゃを用意します)
費用 900円
持物 ご自分のメイク道具、スタンド式鏡、ターバンなどの髪留め
申込 名前、電話番号、会員番号または体験希望、お子様連れの方はお子さんの名前・性別・年齢をご記入の上、メールでお申込ください。

お知らせ このほかにもイベントを多数企画しています、詳しくは HP をご覧ください。

主催 M-cPlace E-mail:be@m-cplace.com HP : <http://m-cplace.com>

助成金情報 <2009年度(第1回)ドコモ市民活動団体への助成事業>

- 支援元 NPO 法人ドコモモバイル・コミュニケーション・ファンド(ドコモ MCF)
- 応募地域 全国
- 応募資格 法人格を有する、活動実績が2年以上ある民間の非営利活動団体
- 支援対象 「子どもを守る」という視点にたった活動テーマに相応しい支援活動
- 支援金額 総額 2,500 万円。1件あたり 50 万円を標準とし、200 万円を上限とする
- 申込受付期間 2009年 2月 2日～3月 31日
- 備考 詳しくは HP をご覧ください <http://www.mcfund.or.jp/>

ネットワーク **HOT** ニュース

プレゼンテーション入門講座 「やりたいことをハッキリつたえよう！」

2月14日（土）市公民館4階視聴覚室において、プレゼンテーション入門講座を開催しました。

この事業は広報委員会が企画した自主事業で、市内でソフトウェア会社を経営され、（社）小牧青年会議所の理事長も務める山本英樹さんを講師に迎え、助成金の応募や行政や企業との協働を進める上で必要となるプレゼンテーションのコツを教えてくださいました。

事業を計画する上で注意すべきこととして「夢が広がりすぎて、できないことまでやろうとしていないか」「誰の何のための事業かが明確になっているか」「事業の工夫と期待される効果が明確になっているか」などをポイントとしてあげられ、またプレゼンテーション本番に「活動に対する想いが強いあまり、事業内容より団体紹介の説明についての時間が長くなりすぎていないか」など、しばしば見られがちなマイナス要因にも言及。

その上で「事業内容は資料を読めばわかります。シナリオを棒読みするのでは気持ちは伝わりません。大切なのは気持ちです。事業に対する熱い想いが伝わってこそプレゼンをする意味があるのです」と指摘し、そのためにも自信を持って事業内容の説明に臨めるよう、準備にじっくり時間をかけることが重要であると強調されました。



講師の山本英樹さん

information information

3月までのネットワーク関連事業

- 2月22日（日）「産地直送！北海道八雲町のホタテ販売」
- 2月27日（金）NPO講座応用編
「市民団体のネットワークをひろげよう！」
- 3月7日（土）第2回NPO相談会
- 3月20日（祝）第12回市民まちづくりセミナー
「藁（わら）の家で たのしみ隊」
- 3月22日（日）小牧市地域活性化フォーラム
「団塊世代の役割」
- 3月29日（日）団塊世代起業塾 第3回
「コミュニティビジネスを学ぼう」

※詳しい内容についてはチラシをご覧ください。事務局までお問合せください。

三菱東京UFJ銀行小牧支店に 市民活動団体のチラシラック設置

当ネットワークとの協働により、三菱東京UFJ銀行小牧支店の店頭に当市の市民活動を発信する専用ラックを設置していただくことになりました。同行にとって小牧支店が全国初の導入になります。

内容物の入れ替えはネットワークの事務局が行なっていますので、チラシや団体情報などの設置を希望される方は、事務局までお問合せください。

編集後記：例年以上にマスク姿を多く見かける今年の冬。インフルエンザと花粉症対策にと家人も箱に入った使いきりマスクを買ってきました。定番の布のマスクに比べ顔の3分の2ほども覆い隠す不織布のマスク。私にとってはスッピンで買い物に行くときの強い味方（！？）となっています。（ひ）

ネットワークニュースレター第7号

◎発行・編集：特定非営利活動法人 小牧市民活動ネットワーク ◎発行日：2009年2月15日

〒485-0041 小牧市小牧二丁目107番地 小牧市公民館4階

TEL：(0568) 74-4011 FAX：(0568) 74-4070

e-mail:info@npo-komaki.net HP:http://www.npo-komaki.net/